

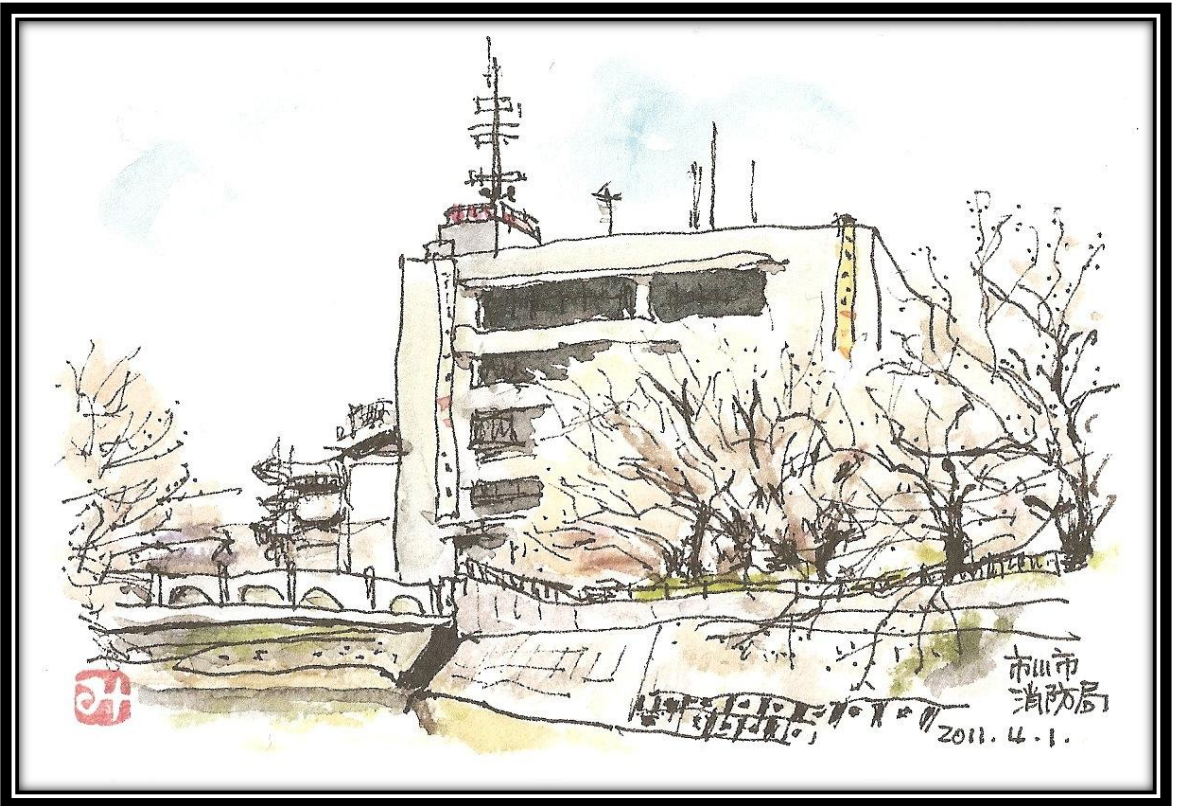
響

ひびき

真宗大谷派 道誠寺報

No.29

2011年5月15日 発行



絵 百田 稔さん

行事のお知らせ(6月、7月)

行事の報告(3月、4月、5月)

法語

真宗大谷派
東本願寺
75th Shinran

暮らしの
じいん
真宗大谷派
東京教区
www.ji-n.net
宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要

今、いのちがあなたを生きている

真のよりどころを
求めて

6 月

行事のお知らせ

9日
(木)

- にもくかい
- ・ 二木会
 - ・ 14時～

12日
(日)

- 日曜法話会 改め
- ・ 御遠忌団体参拝報告会
 - ・ 14時～

住職より簡単な法話の後、
御遠忌について話し合います。

23日
(木)

- ・ 書道教室 写経
- ・ 15時～ 青山 美智子 師
- ・ 同朋会 どうほうかい
- ・ 17時～ 脇山 展彦 師
東京教区駐在教導

7 月

14日
(木)

- ・ 二木会
- ・ 14時～

28日
(木)

- ・ 書道教室 写経
- ・ 15時～ 青山 美智子 師
- ・ 同朋会
- ・ 17時～ 小林 尚樹 師

上記の行事はすべて会費
ありません。



「二木会」は門徒さんの親
睦を深める楽しい会です。
初めての方でもお気軽に♪

「同朋会」は『正信偈』を
皆でお勤めした後、真宗の
教えに遇う大切な場です。

電車を御利用の方は、市
川大野駅まで車で送迎致し
ますので、お寺に電話御願
い致します。

TEL 047-337-5305

行事の報告

3月

10日(木)

「二木会」
にもくかい

親鸞教室 参加者

※ホームページ上では、
公表しません。 四名参加

お寺で二木会 参加者

※ホームページ上では、
公表しません。 五名参加



三月の二木会では、二組に分かれ、一組は親鸞教室に参加し、もう一組は、お寺で茶話会でした♪
親鸞教室では『正信偈』を学んでいます。会場は松戸市にある因宗寺さんでした。



☆この二木会の次の日、十一日に地震が起こりました。

そのため、首都圏各地では、輪番停電があり、また度重なる余震により、交通の乱れがあったため、三月の同朋会は、急遽中止としました。

4月

10日(日)

「日曜法話会」

参加者

※ホームページ上では、

公表しません。

十名参加

講師 市野 慈敬

四月の日曜法話会は、当
山住職、市野慈敬より「浄
土真宗の精神」というテーマで
お話ししました。

たんにしよう

『歎異抄』とは、親鸞聖人の
直弟である唯円ゆいえんが親鸞聖人
から直接聞いた言葉を書き
記したとされる書物です。

『歎異抄』の最後、後序には

一室いっしつの行者ぎやうじやのなかに、

信心しんじんことなることなからん

ために、なくななくふでをそ

めてこれをしるす。なづけ

て『歎異抄』というべし。外げ

見けんあるべからず

とあり、「親鸞聖人から教え
を受けた仲間の中に信心の
異なつたものがないようにと

いう願いから、涙を流す思
いで筆をとって記し、『歎異抄』
と名づけ、これは誤解を招き
かねない記述が多いため、
内々のことで外に出しては
いけない」という意味があり
ます。

教えと異なっている者を嘆
き、決して捨てないで、間違
いに気付いてほしいと願う唯
円の心は、異なる者を「排
除」するものではありません。

この唯円の心は、親鸞聖人
の心でもあります。

越後に流された後、関東
の地で布教活動をする親鸞
聖人は、加持祈祷をしている



当山 住職

山伏である弁円べんねんと出遇であわれました。弁円は念仏の教えは邪教であるとして、親鸞聖人をねたみ、殺そうとしました。親鸞聖人は、そんな弁円をも、共に教えに生きる御おん同朋どうぼう、御同行おんどうぎょうとされ、弁円は親鸞聖人の直弟の一人である念仏者となったのです。



日曜法話会の様子

また釈尊によって仏教が広められた時代まで遡さかのぼりますと、釈尊と提婆達多だいばだつたの関係があります。提婆達多は釈尊のいとこ従弟であります。釈尊をねたみ、反逆をして、教団を度々乗っ取ろうとしました。

しかし、『妙法蓮華經みょうぼうれんげきょう』の

成等正覚じょうとうしやうかく。

広度衆生こうどしゆじやう。

皆因提婆達多かいいん だいばだつた。

善知識故ぜんちしきこ。

(等正覚とうしやうかくを成じて、広く

衆生じゆうじやうを度すること、皆提

婆達多が善知識よに因るが

故なり)

と、釈尊は、提婆達多のおかげで、覚さとることができて、多くの人々を救えたのだと言われたそうです。

ます。

「五逆の罪人を嫌い、謗法の重い咎とがを「知らせ」ようにとされるのです。この二つの罪の重いことを「示し」て、あらゆる人びとが、すべてみな漏れずに阿弥陀の世界、浄土に生まれるように、ということ。「知らせ」て下さるのです」と、私たち人間にこの二つの罪の重さと、そしてその二つの罪を背負うような人間存在を「知らしめる」ようなはたらきを意味すると言われます。

のです。

このように誰しもを捨てない、撰取不捨の阿弥陀仏の衆生救済の願いが、釈尊、親鸞聖人、唯円の心、精神に生きています。

自分の都合や考えによって、それにそぐわない他者をすぐに排除してしまう心を持つ私たち人間は、阿弥陀仏の願いに耳を傾けなければならぬと感じております。それが「浄土真宗の精神」ではないでしょうか。

☆語句説明

・五逆とは、父母を殺害したり、仏法にかかわりのあるものに損害を与えたりするなど、人間として最も重い五つの罪を犯す人を意味します。

・誹謗正法とは、仏さまの正法をそしり、覚りを開く可能性のない人を意味します。

14日(木)

「二木会」

親鸞教室 参加者

※ホームページ上では、

公表しません。 五名参加

二木会 参加者

※ホームページ上では、

公表しません。 四名参加

先月に引き続き、二組に分かれ、一組は親鸞教室に参加し、もう一組は、車に乗ってお花見ドライブでした♪ お花見は八柱霊園近くの桜



チューリップ園の前にて

やチューリップを観に行きました。

親鸞教室の会場は船橋市にある阿弥陀寺さんでした。

親鸞教室では海法龍先生より『正信偈』について学んでい



阿弥陀寺本堂にて

ますが、今回は「念仏をふか
くたのみで、世のいのりにここ
ろいれて「震災から問われてい
ること」という講題を掲げて
のお話でした。

28日(木)

「書道教室」「写経」
「同朋会」

書道 写経 参加者

※ホームページ上では、

公表しません。 七名参加

同朋会 参加者

※ホームページ上では、

公表しません。

十八名参加

講師 遠藤智恭

遠藤 智恭 師



今月の同朋会では、埼玉
県川口市にある得信寺衆
徒、遠藤智恭師より「真宗の
教えとの出遇い」をテーマにお
話しいただきました。

お坊さんになる前は、自
分の生き方、目標を決めら
れず、ただ楽しいことだけを
していた気持ちでフリータ
ーをしていました。『一億総

ガキ社会』という本の描写、
責任を持ちたくない、大人に
なりたくない「成熟拒否」とい
う言葉が私に重なっていたの
です。何事にも失敗しない自
分という幻想を抱いていて、
就職することですた自由を
奪われなくなかったという理
由だけでなく、就職の失敗
を恐れていたのですね。

自分の出来ないものは無意
識に避け、何でも出来る自
分となっていたわけなのです
が、そのような私は、他者を
何も出来ないような、馬鹿に
したような思いで見っていたの

です。そして他者に冷たくあ
たっていたのです。

そんな私は、念仏しても
踊躍歡喜の心がないという唯
円の問い対して、親鸞聖人は
「私も唯円と同じ心だ」とおっ
しやられた『歎異抄』第九條
の言葉に心惹かれました。

私が親鸞聖人と同じ立場
でしたら、「私の喜べるよう
な念仏が正しくて、あなたの
喜べないような念仏は違う」
と言うでしょうが、親鸞聖人
には嘘をつかない、誠実さを
感じました。また親鸞聖人
は、相手(他者)を「人」とし
て認めているからかなとも思

いました。

また『歎異抄』第二条でも
関東から来られた方達に、
私の念仏が正しいからあなた
たちもそうしなさいと無理や
り押しつけず、教えというも
のは自分で選択しなければ
ならないとおっしゃっていた部
分にも驚かされました。そし
て、地獄に落ちても構わない
ような覚悟を持って選択す
るのだと言われています。

このような親鸞聖人の姿や
言葉から、「私はどのよう
に生きているのか」、「私にとつて
今まで生きてきた価値とは
何なのか」という問いが生まれ

てきたのです。そして、その
問いから見出してくるものを
自分の眼で見据えていくこと
が、自分が納得して死んでい
ける道が開けてくると思いま
した。このように、親鸞聖人
の言葉や姿に出会い、「私の
価値」というものが問われ、
そして今に至るのです。



座談が

とても盛り上がりました！

『歎異抄』 第九條

「念仏もうしきふらえども、踊躍^{ゆやくかんぎ}歡喜のころおろそかにそろうこと、またいそぎ^{しよぎ}浄土へまいりたきころのそうらわぬは、いかにとそろうべきことにてそろうやらん」と、もうしいれてそうらいしかば、「親鸞^{しんらん}もこの不審^{ふしん}ありつるに、唯円^{ゆいえん}房おなじころにてありけり。(略)」

現代語訳

「念仏申しておりますのに、踊り上がるような喜びの心はあまり起きて来ません。また急いで浄土へ行きたいと思う心は、まるでないのですが、これはどう考えたらよいのでしょうか?」と、私・唯円がお尋ねしましたところ、「親鸞も、このことを疑問に思っていました。唯円房よ、あなたも同じ疑いをもっておられたのですね。(略)」



親鸞



5月

12日(木)

「二木会」

参加者

※ホームページ上では、

公表しません。

三名参加

雨が降っていたので、お寺の中で茶話会でした。

今後、二木会で、集まった皆で、日帰り旅行など、新たに企画しています。告知しますので、お楽しみに♪

御懇志

※ホームページ上では、

公表しません。

敬称略

どうもありがとうございます

ございました。

法語

私ひとりの心が

安らぐことでは

本当の救いには

なりません

あらゆる人々と

共に安らぐことが

成り立たないと

私たちは

救われないので

尾畑 文正

◆敬弔

※ホームページ上では、

公表しません。

生前のご功労を偲び、念仏合掌
して哀悼の意を表します。

☆編集後記☆

◆四月十九日から二十八日までの間、本山・東本願寺にて厳修されている宗祖親鸞聖人七五〇回御遠忌の第二期法要に、教区の取材で行ってまいりました。

五月二十五日には、千葉組で千葉県から門徒さんが団体で参拝されるということで、詳しい内容は、団体参拝とともに次回の号で載せます。

◆原発や地震の問題で、いつも何となく晴れないモヤモヤとした気分で、時々落ち込みま

す。そんな時は、家の中にこもりがちになるのですが、なるべく外に出て、散歩をするように心がけています。

十三日現在、雨も止んだので、散歩に出ると、新緑の白いが見ました。自然の変化を、見たり、聞いたり、身体で感じますと、何だかホツとします。
しゃくこうせい
(釋光生)

編集

真宗大谷派 道誠寺

〒272-0804

千葉県市川市南大野 1-26-31

TEL: 047-337-5305

FAX: 047-337-5306

URL: <http://douzyouzi.com>

住職 市野 慈敬 (釋慈敬)

副住職 釋光生